

弾道ミサイル発射・落下時の行動について

北朝鮮が再三にわたりミサイルの発射実験を行うなど、北朝鮮情勢は悪化しています。

万が一ミサイルが発射・落下した時に、ご自身の身を守るための行動を下記のとおりまとめましたので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

記

1. ミサイルが発射された場合

全国瞬時警報システム（Jアラート）により関係市町村にミサイル発射情報を伝達し、また、携帯電話やスマートフォンをお持ちの関係住民に、緊急速報メールによりミサイル発射情報や直ちに避難するなどの情報を配信します。

○安全確保のため、スクールバスおよび町営バス・コミュニティバスは一時停車し運行を見合わせる場合があります。安全が確保できた段階で運行を再開します。

2. 携帯電話やスマートフォンをお持ちでない方への情報伝達

消防署のサイレンにより、即時に住民の皆さんにお知らせします。

【ミサイル発射時のサイレンパターン】

サイレン（45 秒） 休止（5 秒） を 3 回繰り返します。

【サイレン実施箇所】

消防署、角田分遣所、継立分遣所、雨煙別消防詰所、南学田消防詰所、日出消防詰所

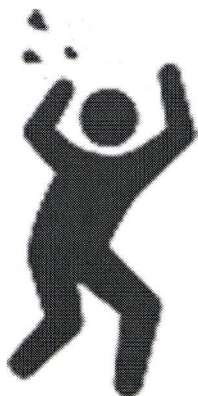
3. その他

ミサイル通過後など、安全が確認できた後に物陰などに身を隠している児童生徒（登下校時）を見かけた時は、安全であることをお知らせ願います。

4. 本件に関する問い合わせ

町総務課 広報・防災・情報グループ

☎ 73-7501



確認しましょう！

弾道ミサイル 発射・落下時の行動

ミサイルが北海道へ飛来・落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「全国瞬時警報システム（Jアラート）」を活用して、緊急速報メールや消防署のサイレンなどでお知らせします。

①速やかな避難行動

②正確かつ迅速な情報収集

メッセージが届いたら・サイレンが鳴ったら
落ち着いて、直ちに行動してください

屋外に
いる場合

できる限り建物の中や
地下に避難する。

※地下：地下街などの地下施設

建物
がない場合

物陰に身を隠すか、地
面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、窓の
ない部屋に移動する。